

投資家向け説明会

2023 年 11 月

日産車体株式会社

皆さま、こんにちは。

日産車体株式会社、代表取締役社長の吉村東彦です。

ただいまより、2024年3月期 第2四半期決算について説明致します。

2023年度、第2四半期の売上台数は、上海ロックダウンや半導体の供給不足の影響を受けた22年度に対し持ち直し、7万1千台となりました。

車種別の売上台数を見ると、ご覧のようになります。

昨年度半導体供給不足の影響を大きく受けた湘南工場のNV200バネットとADが大きく回復したほか、生産活動の正常化に伴い、その他の車種の多くで昨年に対し増加しました。

次に、売上高についてです。2023年度第2四半期の売上高は、前年から増収となり、前年同期の1309億円に対し、1455億円となりました。

次に損益面について説明します。

営業利益は、前年同期のマイナス10.4億円に対し、4.8億円、経常利益は、前年同期のマイナス6.3億円に対し、6.9億円、当期純利益は、前年同期のマイナス5.4億円に対し、4.1億円となり、今年度上期は前年に対し増収増益となりました。

しかしながら、計画に対しては、残念ながら下回る結果となりました。

続いて、通期の予想について説明します。

当社グループの主たる事業セグメントである自動車関連事業において、需要の変動による台数の減少及び車種構成の悪化により、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株式に帰属する当期純利益が前回予想を下回る見込みであります。

売上高は、当初予想3,394億円に対し、通期見通しで3,079億円、営業利益は、当初予想88億円に対し20億円、経常利益は、当初予想89億円に対し、24億円、そして、当期純利益は、当初予想56億円に対し、11億円となる見込みとなりました。

以上が2024年3月期 第2四半期決算についての説明になります。

お忙しい中、ご視聴いただき、誠にありがとうございました。